



**ボッシュ株式会社** 電動工具事業部

ホームページ：http://www.bosch.co.jp  
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

**0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前 9:00～午後 5:30)

\* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161  
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用  
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 6V6

1 609 92A 6V6 (2022.02)

## レーザー距離計 GLM 150-27 C Professional



### 取扱説明書（保証書）

このたびは、弊社レーザー距離計をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお  
使いください。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお  
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。  
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

- PRO360 は、日本ではサポートされていません。
- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



# 目次

● 安全規則.....	2
警告表示の区分 .....	2
一般的な電動機械の安全性に関する警告 .....	2
記号について .....	5
● 安全上のご注意.....	6
コードレス製品全般についての注意事項 .....	6
レーザー距離計についての注意事項 .....	13
ACアダプターについての注意事項.....	16
● 本製品について .....	18
用途.....	18
各部の名称.....	18
仕様.....	21
標準付属品.....	23
別売品アクセサリ .....	24
● 使い方 .....	25
作業前の準備をする.....	25
作業する .....	27
他の機器へのデータ転送 .....	49
レーザー距離計の精度チェック .....	55
その他の機能設定 .....	59
● バッテリーを長持ちさせるために.....	61
● リサイクルのために .....	61
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください .....	61
● お手入れと保管 .....	62
お手入れと保管 .....	62
廃棄.....	62
● 困ったときは.....	63
故障かな?と思ったら.....	63
修理を依頼するときは.....	64

安  
全

つ本  
製  
い品  
てに

使  
い  
方

つバ  
ッテ  
りー  
い  
てに

保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

困  
っ  
た  
と  
き  
は

# 安全規則

## 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 、、 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 一般的な電動機械の安全性に関する警告

### 警 告

電動機械とともに提供される全ての安全上の警告、指示、図解および仕様をお読みください。

次に示す全ての指示に従わない場合には、感電、火災および重傷を負う恐れがあります。

必要に応じて読むことができるように、全ての警告および指示を後日のために保管してください。

次に示す全ての警告における“電動機械”という用語は、電源式(コード付き)電動機械または、電池式(コードレス)電動機械を示す。

## a) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分に明るくしてください。散らかった暗い場所で作業すると事故の原因となります。
- 2) 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動機械を使用しないでください。電動機械から発生する火花は、粉じんまたは蒸気(ヒューム)を発火させることがあります。
- 3) 電動機械の使用中は、子供および第三者を近付けないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

## b) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－電気的安全性

- 1) 電動機械の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。また、電源プラグを改造しないでください。アダプタープラグを接地した電動機械と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグおよびそれに対応する電源コンセントを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体を接触させないでください。  
身体が接地されたものと接触した場合、感電する恐れがあります。
- 3) 電動機械を雨または湿気のある状態にさらさないでください。電動機械に水が入ると、感電する恐れがあります。
- 4) コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張って電動機械を引き寄せたり、または電源プラグを抜くためにコードを引っ張らないでください。コードを熱、油、鋭利な角または動いているものに接触させないでください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電する恐れがあります。
- 5) 電動機械を戸外で用いる場合は、戸外の使用に適した延長コードを使用してください。戸外の使用に適したコードを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 6) 電動機械を湿った場所で用いることが避けられない場合、漏電遮断器(RCD)によって保護された電源を使用してください。漏電遮断器(RCD)を使用することで、感電のリスクは低減されます。

## c) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－人的安全性

- 1) 電動機械の使用中は、油断をせず、現在、自分が何をしているかに注意してください。電動機械の使用中は、自らの動作に対する作業安全を常に考慮してください。疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動機械を使用しないでください。電動機械の使用中的一瞬の不注意で、深刻な人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 2) 安全保護具を使用してください。常に、保護めがねを装着してください。防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に用いることで、傷害事故を低減することができます。

- 3) 意図しない始動を避けるため、スイッチに指をかけて電動機械を運ばないでください。電源プラグを差し込む前に、スイッチが“切”の位置にあることを確認してください。スイッチに指をかけて電動機械を運んだり、スイッチが“入”の位置になった電動機械の電源プラグを差し込むと、意図せず始動し事故の原因となる恐れがあります。
- 4) 電動機械の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動機械の回転部分に調整キーまたはレンチを付けたままにしておくと、人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 5) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場およびバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動機械を適切に操作することができます。
- 6) だぶだぶの(余裕のある)衣服または装飾品は身に付けず、きちんとした服装で作業してください。髪、服および手袋を回転部分に近付けないでください。だぶだぶ(余裕のある)の衣類、装飾品または長髪で作業をすると、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。
- 8) 電動機械を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。不注意な行動は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。

#### d) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－バッテリー電動機械の使用および手入れ

- 1) 弊社が指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外では充電しないでください。  
指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外で充電すると、火災を発生する恐れがあります。
- 2) 電動機械は、指定するバッテリー以外は、使用しないでください。指定していないバッテリーを使用すると、人的被害および火災のリスクを生じる恐れがあります。
- 3) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなどの金属物、または端子間を短絡する恐れがあるその他の小さな金属物と分けて保管してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災を生じる恐れがあります。
- 4) 過度な条件の下では、バッテリーから液体が漏えいすることがあります。バッテリーから漏えいした液体への接触は避けてください。漏えいした液体に接触した場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。バッテリーから漏えいした液体は、炎症またはやけどの原因となる恐れがあります。
- 5) 破損または改造したバッテリーや電動機械を使用しないでください。使用すると、火災や爆発、若しくはけが、予期しない動作を生じる恐れがあります。
- 6) 火または高温にバッテリーや電動機械をさらさないでください。火または130℃以上の温度にさらすと爆発する恐れがあります。






- 7) 取扱説明書の指示に従って充電してください。取扱説明書で指定する温度範囲外では、バッテリーまたは電動機械を充電しないでください。不適切または指定範囲外の温度で充電すると、バッテリーが損傷し、火災の危険が増大します。

### e) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－修理

- 1) 電動機械の修理は、資格を有する修理要員に純正交換部品だけを用いて修理するよう依頼してください。これによって、電動機械の安全性が維持できます。
- 2) 損傷したバッテリーは、修理しないでください。損傷したバッテリーの修理は、弊社または認定整備業者に依頼してください。

## 記号について

本機には下記の記号が表示されています。  
記号の意味を十分理解して本機を使用してください。

	直流
	電波法の基準適合表示
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
<b>Li-Ion</b>	リチウムイオンバッテリー
	レーザー放射警告表示
	強磁場の警告表示

# 安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

## コードレス製品全般についての注意事項

ここでは、コードレス製品全般の『安全上のご注意』について説明します。

### 危険

- リチウムイオンバッテリーを使用する際は、ボッシュ専用の充電式バッテリーを使用してください。
  - ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
  - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。  
製品本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。
  - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
  - ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- 製品本体やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。
  - ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。

- 専用の充電器以外では、充電しないでください。
  - ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。  
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。
- バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
  - ◆ 短絡の恐れがあります。
- バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。  
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。
  - ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。



## 警告

- 正しく充電してください。
  - ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
  - ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
  - ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
  - ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
  - ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。
- 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
  - ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
- 感電に注意してください。
  - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。



- ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。  
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電式でないバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。
- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知機で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
  - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 製品本体にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。
- 製品を、無理に使用しないでください。目的に合った製品を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
  - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 付属品、アタッチメントなどは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う製品に合うように使用してください。  
製品を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
  - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。

- スイッチで始動、および停止操作のできない製品は、使用しないでください。スイッチで制御できない製品は危険です。修理を依頼してください。
- 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず製品本体からバッテリーを取り外してください。  
このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 作業中に製品本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
  - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
- 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、製品本体や付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鋳物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
  - ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
    - できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
    - 作業場所の換気に注意してください。
    - DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、製品本体が冷めるための時間を設けてください。
  - ◆ 複数個による連続作業は、本体に支障をきたすばかりでなく、製品本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。

- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者 の 診 断 を 受 け て ください。
  - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
  - ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的に製品の通気口を清掃してください。
  - ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
  - ◆ 握り部が滑りやすいと、製品本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。
  - ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。
- 製品を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、製品の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。製品を扱いなれていない人に渡すと、危険です。
  - ◆ この製品で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
  - ◆ 鍵のかかる所に保管してください。
- 製品の保守を行ってください。各 부품 の 損 傷 や そ の 他 の 状 態 を チェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。

多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。

## ●製品の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方は製品、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 製品が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した製品やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、製品をコントロールできなくなります。
- ◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した製品の保守・点検・修理は受け付けできません。

## ●この製品は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。

- ◆ この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

## ●安全上のご注意は、必ず守ってください。

- ◆ 製品の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。製品操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

## ●搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。

第三者が運搬する場合(例えば空輸あるいは代理店経由)、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。

## 注 意

- 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
  - ◆ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

## レーザー距離計についての注意事項

コードレス製品全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。ここでは、レーザー距離計をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

### 警 告

- 本製品にBluetooth®送信機が装着されている場合、航空機内・病院内など、無線通信に制限がある場所では、それぞれの指示に従ってください。  
他の機器との干渉が起こることがあります。  
(Bluetooth®に対応していないモデルには該当しません。)
- 本製品にBluetooth®送信機が装着されている場合、近くの人や動物に対して影響を与える可能性があります。  
(Bluetooth®に対応していないモデルには該当しません。)
- レーザー光を人や動物に向けたり、直接のぞいたりしないでください。
  - ◆ 本機はレーザークラス2 (EN60825-1準拠) のレーザー光を発光します。レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
- 取扱説明書に記載された使用方法に従って使用してください。
- 取扱説明書およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアクセサリ以外は使用しないでください。
- レーザーメガネを保護メガネとして使用しないでください。
  - ◆ レーザーメガネはレーザー光の視認を助けるものであり、レーザー光から目を保護するものではありません。
- レーザーメガネをサングラスとして使用したり、道路交通上で着用したりしないでください。
  - ◆ レーザーメガネでは紫外線からの完全な保護はできません。またレーザーメガネは色の認識力を低下させます。

- 本製品を分解・改造しないでください。
- 測定を行う場合は安全な測定場所を確保してください。
  - ◆ 爆発の危険性のある環境(可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所)では使用しないでください。本製品から火花が発生し、粉じんや蒸気に引火する恐れがあります。
- レーザー光が他人や動物、自分に向いていないことを確かめて、本製品を設置してください。
- 本製品に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、本製品に破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。
- 本製品を湿気の多い場所や直射日光の当たる場所に、放置しないでください。
- 本製品を極度に高温または低温になる場所や、急激な温度変化のある場所では、使用しないでください。
- 使用中に異常が疑われるときには、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検を依頼してください。
- 磁石の付いた製品を、インプラントやその他の医療機器(例えばペースメーカー、インスリンポンプ等)から遠ざけてください。
  - ◆ 製品内の磁石は、インプラントや医療機器の機能を損なう可能性のある磁場を生成します。



## 注 意

安  
全

### ● 使用前に、本製品に損傷がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、本製品に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

### ● 無理な姿勢で作業しないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

### ● 子供を近づけないでください。

- ◆ 目の届かない場所で、子供に本製品を使用させないでください。レーザー光が他者や子供自身の目に入ると、視力に影響を及ぼす場合があります。

### ● 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 子供や製品知識を持たない方の手の届かない安全な所、または鍵の掛かる所に保管してください。

### ● 磁石の付いた製品を、磁気に影響を受けるデータ記憶媒体やデバイスから遠ざけてください。

- ◆ 製品内の磁石の影響により、修復できないデータ損失が発生する可能性があります。



### ● 点検は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。

- ◆ 点検の知識や技術のない方が点検しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ サービスマン以外の方は、分解したり修理したりしないでください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。



## ACアダプターについての注意事項

ここでは、ACアダプターをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

安  
全



### 警告

- **感電に注意してください。**
  - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
- **仕様に指定された温度範囲内で使用してください。**
- **電源に100～240Vが確実に供給されていることを確認してください。特に、延長ケーブルを使用するときは、必ず事前に確認してください。**
  - ◆ 使用電源の電圧が指定より低いまたは高い状態で使用すると、ACアダプターに支障をきたすばかりでなく、発火の原因になります。
- **やむを得ず、湿気の多い場所で使用する場合は、漏電遮断器(RCD)を設置して給電してください。**
  - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
- **ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用しないでください。**
  - ◆ 発火・爆発の恐れがあります。
- **紙類や布類、畳、カーペット、ビニールなど可燃物の上や周辺、綿ぼこりなどほこりの多い場所では充電しないでください。**
  - ◆ 使用中の熱で発火する恐れがあります。
- **ACアダプターは、雨中で使用したり、湿った、またはめれた場所で使用しないでください。**
  - ◆ ACアダプターに水が浸入すると、感電の危険が増します。
- **ACアダプターを布などで覆わないでください。**
  - ◆ 布などで覆われていると過熱して、発火・破裂の恐れがあります。

- ACアダプターの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、使用を中止してください。
  - ◆ そのまま使用を続けると、発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ACアダプターは、いつもきれいに保ってください。
  - ◆ 汚れていると、感電の恐れがあります。
- ACアダプターは本製品以外の用途に使用しないでください。

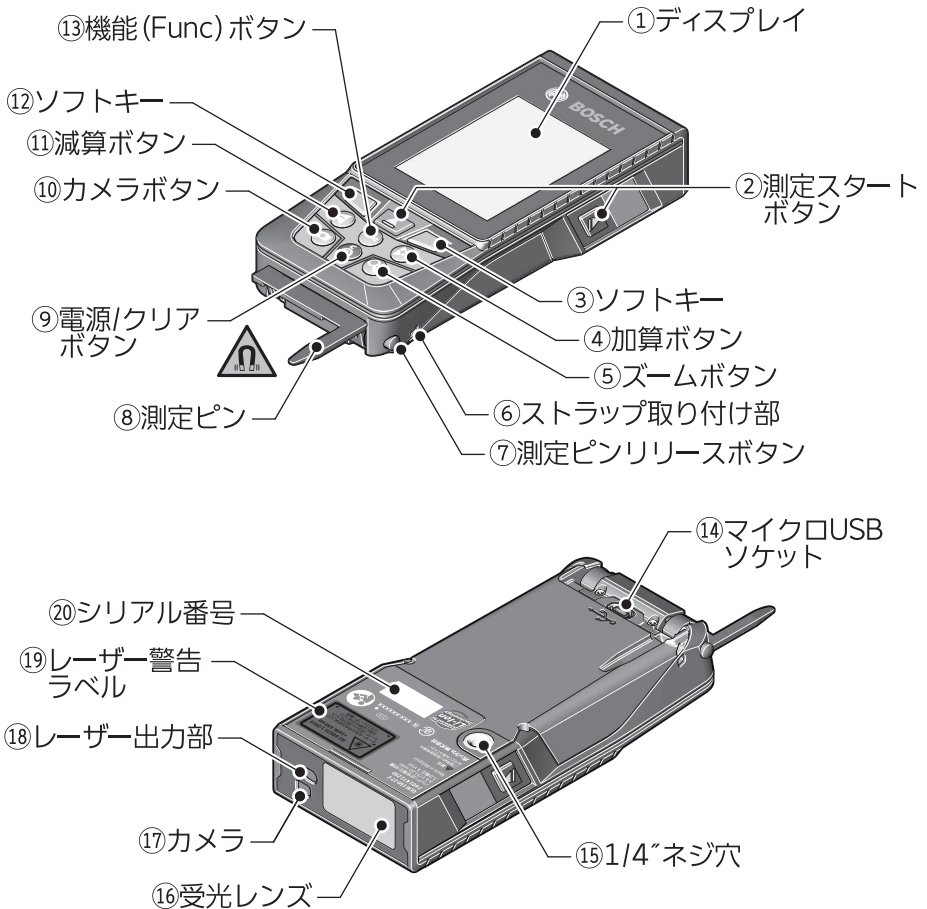
# 本製品について

## 用途

- ◆ 距離測定、面積測定、体積測定、連続測定、間接・ピタゴラス測定、壁面積測定、等間隔測定、傾斜測定
- ◆ Bluetooth<sup>®</sup>およびUSBケーブルによる測定結果の数値、画像データの転送

つ本  
製  
品  
てに

## 各部の名称

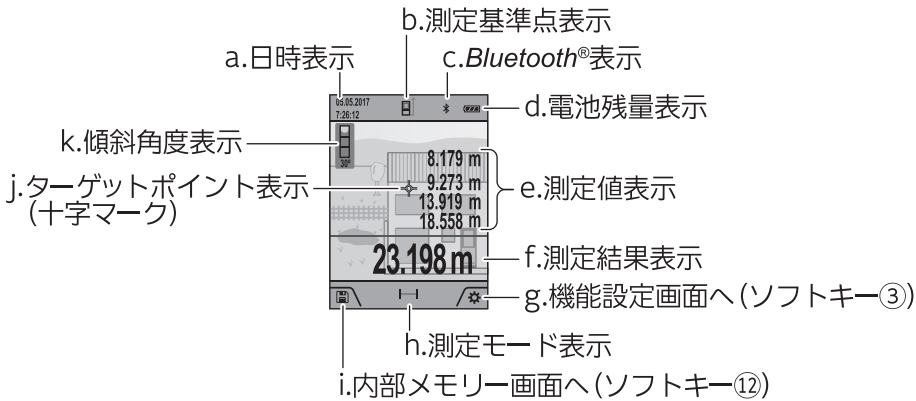


◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

# ディスプレイ

## メイン画面

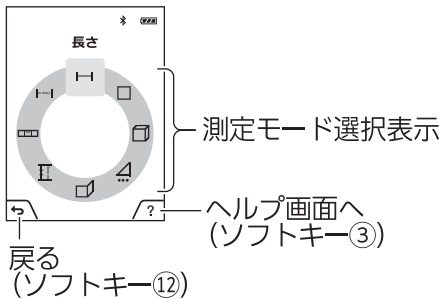
電源を入れたとき、測定するとき



つ本  
製  
い  
品  
てに

## 測定モード画面

メイン画面で「機能 (Func) ボタン⑬」を押す

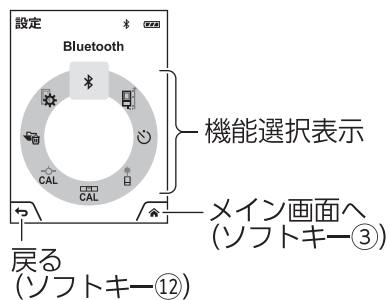


- ┆ 距離測定モード
- ┆ 連続測定モード
- 面積測定モード
- ▢ 体積測定モード
- ≡ 間接・ピタゴラス測定モード
  - △ 間接高さ測定モード
  - ◁ 簡単ダブルピタゴラス測定
  - △ 間接距離測定モード
  - 台形測定モード
- ▣ 壁面積測定モード
- ≡ 等間隔測定モード
- ▢ 傾斜測定モード

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

## 機能設定画面

メイン画面で「ソフトキー③」を押す

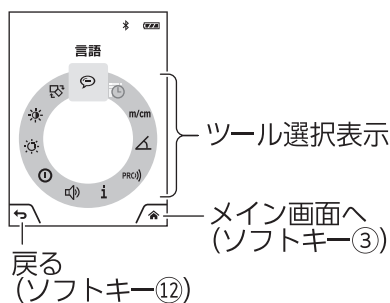


本製品に  
ついて

- ✳ Bluetooth®
- 📏 測定基準位置
- 🕒 タイマー測定
- ☀ レーザー光連続照射
- CAL 角度校正(キャリブレーション)
- CAL ファインダー校正(キャリブレーション)
- 🗑 内部メモリーデータ削除
- ⚙ ツール設定

## ツール設定画面

機能設定画面で「ツール設定 ⚙」を選択



- 💬 言語
- 🕒 日時
- m/cm 測定単位
- △ 角度単位
- i ツール情報
- 🔊 シグナル音
- ⌚ シャットダウン時間
- ☀ 自動照明オフ時間
- ☀ 照度
- 🔄 回転表示
- PRO) PRO360  
(日本仕様品では機能がありません)

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

# 仕様

モデル名	GLM 150-27 C
型番	GLM 150-27 C Professional
測定可能範囲 距離測定 (標準) 距離測定 (測定に不利な環境下) ピタゴラス測定の傾斜 傾斜測定	0.08~150m*1 0.08~60m*2 0~360°(4×90°) 0~360°(4×90°)
測定精度 距離測定 (標準) 距離測定 (測定に不利な環境下) 傾斜測定 (標準)	±1.5mm*1 ±3.0mm*2 ±0.2°*3*4*5
最小測定単位 距離測定 傾斜測定	0.5mm 0.1°
使用温度範囲	-10~+45℃
保管温度範囲	-20~+70℃
充電温度範囲	+5~+40℃
最大相対湿度	90%
使用可能標高	2000m (最高)
レーザークラス	クラス2
レーザーの種類	650nm、<1mW
レーザー光径 (周辺温度25℃の場合)	約9mm (測定距離10m) 約90mm (測定距離100m)
自動電源オフ (測定を行わなかった場合) レーザー光 本体	約20秒 2分、5分、10分、または「自動シャット ダウンなし」(選択可能)
防じん・防水構造	IP54 (電池収納部を除く)
質量	210g
寸法	142 (測定ピンリリース時176) ×64×28mm
電源 定格電圧 バッテリー容量 充電時間 (空→フル充電)	リチウムイオンバッテリー D.C.3.6V 3.12Ah 約5.5時間
マイクロUSBケーブル 充電電圧 充電電流	USB2.0 5V 1A

つ本  
製  
い品  
てに

測定単位	m/cm (選択可能)
測定値メモリー件数	50件
操作音	あり
汚染度	2*6
<b>Bluetooth®</b> 周波数 最大送信出力	<b>Bluetooth® Low Energy*7</b> 2402 ~ 2480MHz 8mW

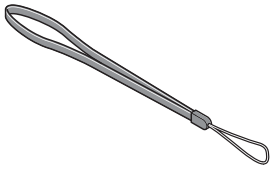
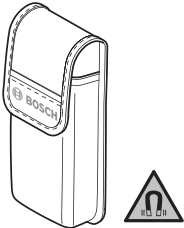
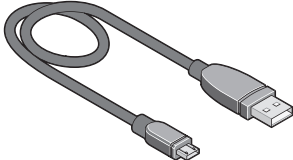
つ  
本  
製  
品  
に  
て

- \*1 弱い逆光、使用温度25℃のとき、前方端基準の測定で、反射率が高い測定対象物(白塗の壁など)の場合。偏差は、±0.05mm/mを増減します。
- \*2 強い逆光、使用温度25℃のとき、前方端基準の測定で、反射率が高い測定対象物(白塗の壁など)の場合。偏差は、±0.15mm/mを増減します。
- \*3 0°および90°で校正後、傾斜角45°までの偏差は±0.01°/度を増減します。傾斜測定の方角(45ページ参照)の精度です。
- \*4 使用温度25℃のとき。
- \*5 傾斜測定の測定基準は本機の左側面です。
- \*6 非導電性の汚染は発生するが、たまたま結露によって一時的に導電性が引き起こされることが予想されます。(IEC61010-1)
- \*7 転送先の機種やOSによっては、省電力Bluetooth®通信ができないことがあります。Bluetooth®機器にはSPPプロファイルのサポートが必要です。

お客様のレーザー距離計のシリアル番号は、銘板に記載されています。  
(18ページ「各部の名称」参照)

本機は、日本の電波法および電気通信事業法の規格に準拠しています。  
分解・改造しないでください。(分解・改造すると認証番号は無効になります)

## 標準付属品

モデル名	GLM 150-27 C
型番	GLM 150-27 C Professional
 ストラップ	1本
 キャリングバッグ	1個
 マイクロUSBケーブル	1本

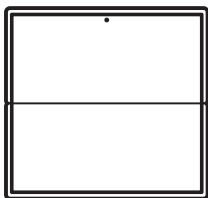
つ本  
製  
い品  
てに

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。



## 別売品アクセサリ

つ本  
製  
い品  
てに



レーザーターゲットプレート



レーザーメガネ



軽量アルミ三脚

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

# 使い方

## 作業前の準備をする

### ● バッテリーを充電する

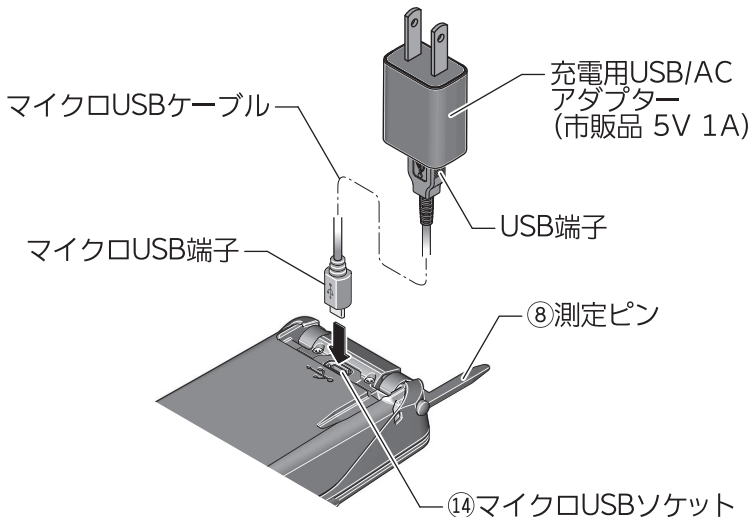


- ◆ レーザー距離計本体破損防止のため、必ず付属のマイクロUSBケーブルを使って充電してください。
- ◆ レーザー距離計本体が熱くなっているときは、冷めてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電用USB/ACアダプター（市販品）を使用しないでください。
- ◆ 電源に100Vが確実に供給されていることを確認してください。  
特に、延長ケーブルを使用するときは、必ず事前に確認してください。

使  
い  
方

充電用USB/ACアダプター（市販品 5V 1A）を使用するか、マイクロUSBケーブルのUSB側を直接パソコン等のUSBポートに差し込んで充電してください。ここでは、充電用USB/ACアダプター（市販品）を使用する場合の手順を記載します。

👉 リチウムイオンバッテリーはその寿命を縮めることはなく、いつでも充電が可能です。充電を途中でやめてもバッテリーを傷めることはありません。



1. 充電用USB/ACアダプター(市販品)の電源プラグを100V電源コンセントに差し込みます。
2. 充電用USB/ACアダプター(市販品)にマイクロUSBケーブルのUSB端子を差し込みます。
3. マイクロUSBケーブルのマイクロUSB端子をマイクロUSBソケット⑭に差し込みます。  
充電中は、電池残量表示dは点滅し、充電の進行状況を示します。  
充電が完了すると、電池残量表示dのすべてのセグメントが表示されます。
4. 充電が終わったら、充電用USB/ACアダプター(市販品)の電源プラグを電源コンセントから抜きます。
5. マイクロUSBケーブルのマイクロUSB端子をレーザー距離計本体から抜きます。
6. 充電用USB/ACアダプター(市販品)からマイクロUSBケーブルのUSB端子を抜きます。

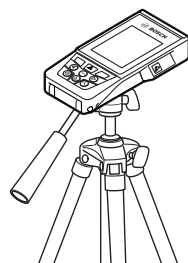
☞ マイクロUSBケーブルを接続するためのマイクロUSBソケット⑭は、測定ピン⑧と一体になったカバーの下にあります。「測定ピンリリースボタン⑦」を押してカバーを開いてください。

- ☞ バッテリーは出荷時に多少充電されていますが、初めて使用される場合は、バッテリーをフル充電し、完全に充電されたことを確認してください。
- ☞ 充電中、レーザー距離計本体が熱くなりますが、異常ではありません。
- ☞ 付属のマイクロUSBケーブル以外で充電しないでください。
- ☞ 電池残量表示dの右端のセグメントが点滅している場合は、残りわずかな測定しかできません。セグメントの周りのフレームが点滅している場合は、それ以上測定できません。充電してください。
- ☞ パソコン等のUSBポートから充電する場合、供給電力によっては充電時間が著しく長くなる可能性があります。
- ☞ 充電中は、Bluetooth®は自動的にオフになります。

### ● 三脚に取り付ける(三脚を使用して測定するときのみ)

長い距離を測定する場合は三脚を使用します。

本体下部に装備された1/4"ネジ穴⑮を使用して、別売品アクセサリーの三脚または市販の写真撮影用三脚に本体を取り付けます。



## 作業する



### 警告

- ◆ レーザー光を直接のぞかないでください。
- ◆ レーザー光が他人や動物、自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。



### 注意

- ◆ 本機を水分や直射日光から保護してください。
- ◆ 極度に温度の高いまたは低い環境、極度に温度変化のある場所では使用しないでください。
- ◆ 本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

- ☞ 測定するときは、受光レンズ⑯、カメラ⑰、およびレーザー出力部⑱に何も被さっていないことを確認してください。
- ☞ 測定中はレーザー距離計を動かさないでください。(連続モードは除く)  
このため、レーザー距離計はできるだけ測定点上に当てるようにしてください。
- ☞ 測定はレーザー光の中心が対象になります。これは対象物に対して斜めに照準された場合も同様です。
- ☞ 測定範囲は、使用環境の明暗度および照準対象面からの反射特性により異なります。日光照射の強い屋外で作業を行う際には、レーザーメガネおよびターゲットプレートを使用するか、照準対象面に影を当てるとレーザー光が見やすくなります。
- ☞ 透明な表面(ガラス、水面など)および鏡表面を対象物にして測定を行った場合、正しく測定されないことがあります。  
同様に穴があいている表面や、凹凸のある表面、温度差のある空気層、間接的な反射光の受光などが測定誤差の原因となることがあります。これらの現象は物理的原因によるものであり、本機でのお取り扱いによりこれらの問題を解消することはできません。

## 1 電源を入れる

### スイッチのON/OFF

#### スイッチON

「電源/クリアボタン⑨(ⓐ)」または「測定スタートボタン②(△)」を押します。

「電源/クリアボタン⑨(ⓐ)」で電源を入れた場合は、レーザー光は照射されません。

「測定スタートボタン②(△)」で電源を入れた場合には、レーザー光が照射されます。

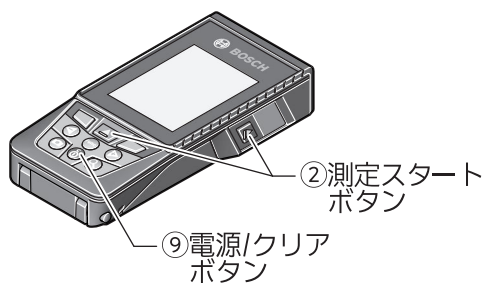
☞ 電源を入れたときは、ディスプレイ①にメイン画面が表示されます。

#### スイッチOFF

「電源/クリアボタン⑨(ⓐ)」を長押しすると、電源が切れます。


短く押しと、レーザー光のみが切れます。


☞ 保存されている測定値および基本項目の設定は、電源を切っても記憶されています。

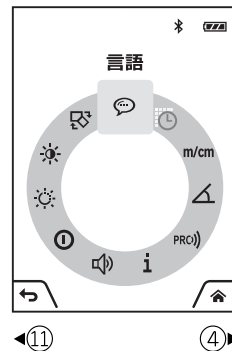
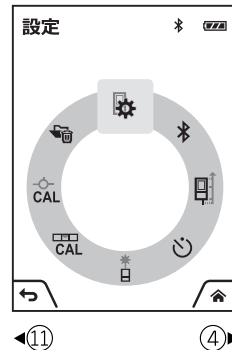
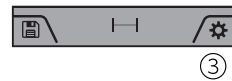


## 2 基本項目を選択する

表示言語や単位、操作音、ディスプレイ①表示の自動回転などを設定できます。設定した項目は、本機の電源を切っても保持されます。

1. メイン画面が表示されているときに「ソフトキー③(機能設定画面へ)」を押して、機能設定画面に切り替えます。
2. 「加算ボタン④(▶)」または「減算ボタン⑪(◀)」を繰り返し押して、「 (ツール設定)」を選択します。
3. 「機能ボタン⑬(Func)」を押して、ツール設定画面に切り替えます。
4. 「加算ボタン④(▶)」または「減算ボタン⑪(◀)」を繰り返し押して、設定項目を選択します。
5. 「機能ボタン⑬(Func)」を押して、項目選択を確定します。
6. 「加算ボタン④(▶)」または「減算ボタン⑪(◀)」を繰り返し押して、設定を切り替えます。
7. 「機能ボタン⑬(Func)」を押して、設定を確定(保存)します。
8. 必要な項目について、4～7項の操作を繰り返します。

 基本項目の設定を終了するときは、「電源/クリアボタン⑨(⏻)」または「ソフトキー③(メイン画面へ)」「ソフトキー⑫(戻る)」のいずれかを押ししてください。



使  
い  
方

### 言語

表示する言語を選択します。

 **日時**

表示する日付と時刻を設定します。


電池を交換したときは、再設定してください。

この設定のみ「ソフトキー②(戻る)」を押して確定します。


**m/cm 測定単位**

測定する長さの単位を選択します。

デフォルトはメートルです。

 **角度単位**


測定する角度の単位を、度(°)または勾配(%) (mm/m) から選択します。デフォルトは度です。

 **ツール情報**

本機のツール情報を表示します。

 **シグナル音**

ボタンを押したときや測定完了時などに、シグナル音を鳴らすか鳴らさないかを選択します。

 **シャットダウン時間**

何も操作しないときに、自動的に電源を切るまでの時間を設定します。

2分、5分、10分、または「自動シャットダウンなし」が選択できます。

 **自動照明オフ時間**

何も操作しないときに、自動的に画面のバックライトを切るまでの時間を設定します。デフォルトは約30秒です。

 **照度**

画面の明るさを設定します。

 **回転表示**

本機の設置方向に応じて、画面の表示方向(上下左右)を自動的に切り替えるか固定するかを選択します。

 **PRO360**

日本仕様品では機能がありません。

### 3 測定モードを選択する

測定モードは、下記から選択できます。

- 距離測定モード
- 連続測定モード
- 面積測定モード
- 体積測定モード
- 間接・ピタゴラス測定モード (サブ4種)
- 壁面積測定モード
- 等間隔測定モード
- 傾斜測定モード

電源を入れた直後は、「距離測定モード」が選択されています。

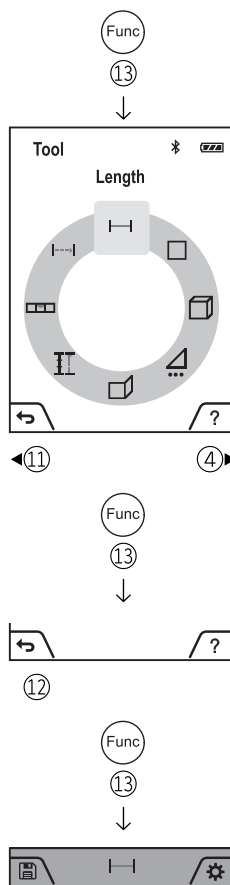
一度任意の測定モードに設定した後は、モードを変更するか電源を切らない限り、設定したモードのままで測定されます。

1. メイン画面が表示されているときに「機能ボタン⑬ (Func)」を押して、測定モード選択画面に切り替えます。

2. 「加算ボタン④ (▶)」または「減算ボタン⑪ (◀)」を繰り返し押して、測定モードを選択します。

3. 「機能ボタン⑬ (Func)」を押して、測定モードを確定します。  
「間接・ピタゴラス測定モード」のときは、サブメニューに進みますので、同様にサブモードを選択して確定します。

4. 再度「機能ボタン⑬ (Func)」を押すか、「ソフトキー⑫ (戻る)」を押すと、測定モード選択画面が閉じ、メイン画面に戻ります。



使  
い  
方

#### 1-1 距離測定モード

ターゲットまでの距離を測定したいときに選択します。



## ☐ 連続測定モード

照準点を基準に本機を移動させながら、連続して距離を測定したいときに選択します。

## ☐ 面積測定モード

長方形(壁・床など)の面積を測定したいときに選択します。

## ☐ 体積測定モード

直方体(室内など)の体積を測定したいときに選択します。

## ☐ 間接・ピタゴラス測定モード(サブ4種)

ピタゴラスの定理を利用して、間接的に長さを測定したいときに選択します。

サブモードとして下記の4種が選択できます。

(39ページ「間接・ピタゴラス測定する」の各項参照)

- △ 間接高さ測定モード
- ◁ 簡単ダブルピタゴラス測定モード
- △ 間接距離測定モード
- △ 台形測定モード

## ☐ 壁面積測定モード

同じ高さの、数面の壁の総面積を測定したいときに選択します。

## ☐ 等間隔測定モード

あらかじめ設定した長さを繰り返し測定したいときに選択します。

## ☐ 傾斜測定モード

傾斜の角度を測定したいときや、水準器として使用したいときに選択します。

☞ ヘルプ画面に切り替えると、各測定モードの作業手順をアニメーションで見ることができます。

測定モードを選択したら、「ソフトキー③(ヘルプ画面へ)」を押してください。アニメーションが開始します。

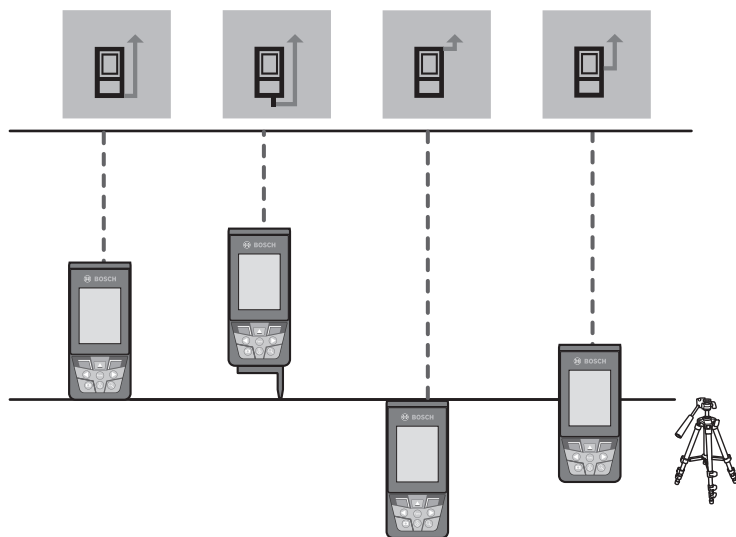
「ソフトキー③」で一時停止/再開、「加算ボタン④(▶)」と「減算ボタン⑪(◀)」で前後に早送りすることができます。

終了するときは「ソフトキー⑫(戻る)」を押してください。

## 4 基準位置を設定する

測定基準位置は、下記の4箇所から選択できます。

● 本体の後方端部 ● 測定ピンの後方端部 ● 本体の前方端部 ● 1/4"ネジ穴



使  
い  
方

電源を入れた直後は、後方端部が基準位置になっています。

一度任意の基準位置に設定した後は、基準位置を変更するか電源を切らない限り、同じ基準位置で測定されます。

1. メイン画面が表示されているときに「ソフトキー③ (機能設定画面へ)」を押して、機能設定画面に切り替えます。
2. 「加算ボタン④ (▶)」または「減算ボタン⑪ (◀)」を繰り返し押して、「測定基準位置 (Q)」を選択します。
3. 「機能ボタン⑬ (Func)」を押して、選択を確定します。
4. 「加算ボタン④ (▶)」または「減算ボタン⑪ (◀)」を繰り返し押して、基準位置を切り替えます。
5. 「機能ボタン⑬ (Func)」を押して、設定を確定 (保存) します。

## 📏 本体の後方端部

本体を壁などに押し当てて、向かい側の壁までの距離を測定するときに選択します。

## 📏 測定ピンの後方端部

部屋の隅やアルミサッシ凹部など、本体が完全に入らないところから測定するときに選択します。

測定ピン⑧は「測定ピンリリースボタン⑦」を押すと飛び出します。

収納するときは、「測定ピンリリースボタン⑦」を押しながら測定ピン⑧を本体側に倒し、「測定ピンリリースボタン⑦」から指を離します。

👉 測定ピン⑧を出しても、測定基準位置は自動的に変更されません。

## 📏 本体の前方端部

テーブルの角などから測定するときに選択します。

## 📏 1/4"ネジ穴

三脚を使用して測定するときに選択します。

基準位置(点)はネジ穴の中心になります。

## 5 カメラを使用する

メイン画面が表示されると自動的にディスプレイ①の背景にカメラ⑭の画像と、レーザー光のターゲットポイントjが表示されます。

「ズームボタン⑤🔍」を押すたびに、画像を3段階までズームイン(拡大)できます。測定点が遠くて見づらいときなどに使用してください。4回目を押すと元の倍率に戻り、以降ズームの繰り返しになります。

再度「カメラボタン⑩📷」を押すと、画像は消えます。

画像のON/OFFは、本機の電源を切っても保持されます。

👉 極端に近い測定点をカメラ画像で見ると、実際のレーザー光照射点とターゲットポイントjがずれることがあります。この場合はカメラの使用をやめ、目視で測定してください。

## 6 測定する

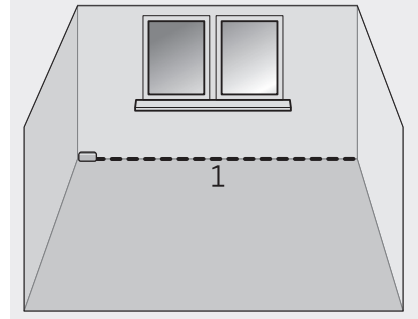


- ◆ レーザー出力部⑱が他人や動物、自分に向いていないことを確かめてから、レーザー光を照射させてください。

- ☞ 照射後、約20秒以上測定を行わないと、レーザー光は自動的に切れます。切れてしまったときは、再度「測定スタートボタン②(△)」を押すと照射されます。

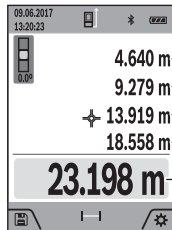
### 距離を測定する

距離を求めます。



使  
い  
方

1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して測定します。  
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。  
測定が完了すると、測定値がディスプレイ①の測定結果表示fに表示されます。  
測定を繰り返し続けると、測定結果表示fに最新の測定結果が表示され、測定値表示eに過去の測定値が表示されます。

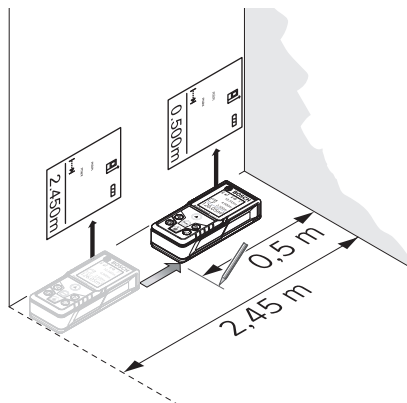


- 4.640 m — 4回前の測定値
- 9.279 m — 3回前の測定値
- + 13.919 m — 2回前の測定値
- 18.558 m — 1回前の測定値
- 23.198 m — 最新の測定値

## 連続測定する

照準点を基準としながら距離を測ります。

連続測定は、約5分間測定し続けます。

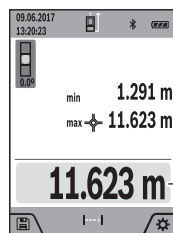


### 使 い 方

1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。

測定値は0.5秒ごとに更新されます。

ディスプレイ①の測定結果表示fに希望する距離が表示されるまで、本機を移動させてください。

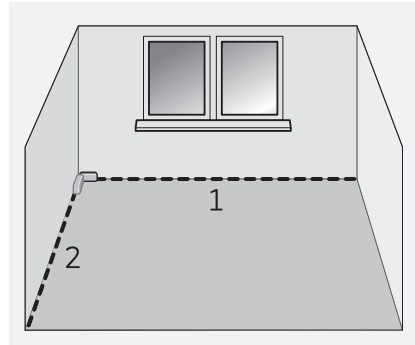


測定値

- ☞ 連続測定を中断したいときは、「測定スタートボタン②(△)」を押してください。レーザー光が切れ、その時点での測定値がディスプレイ①の測定結果表示fに表示されます。その上に最大値と最小値が表示されます。再度、「測定スタートボタン②(△)」を押すと、連続測定を新たに開始します。
- ☞ 連続測定は、5分後自動的に解除されます。

## 面積を測定する

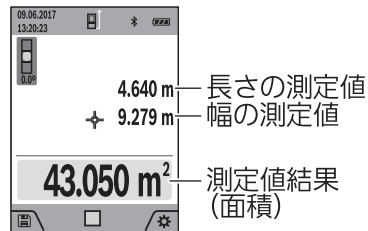
長さや幅を測定して面積を求めます。



1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を長さの目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して長さを測定します。  
測定が完了すると、長さの測定値がディスプレイ①の測定値表示e上段に表示されます。
4. 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。  
👁️ 長さの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
5. 「測定スタートボタン②(△)」を押して幅を測定します。  
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

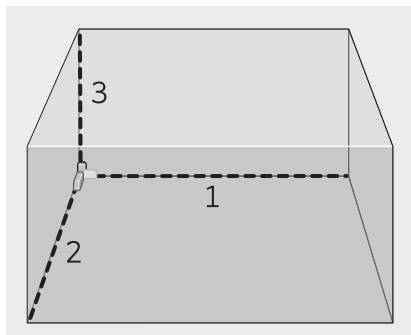
使  
い  
方

測定が完了すると、幅の測定値がディスプレイ①の測定値表示e下段に表示されます。面積の測定値はディスプレイ①の測定結果表示fに表示されます。



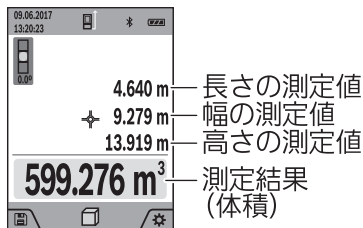
## 体積を測定する

長さ、幅、高さを測定して、体積を求めます。



1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を長さの目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して長さを測定します。  
測定が完了すると、長さの測定値がディスプレイ①の測定値表示e上段に表示されます。
4. 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。  
☞ 長さの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
5. 「測定スタートボタン②(△)」を押して幅を測定します。  
測定が完了すると、幅の測定値がディスプレイ①の測定値表示e中段に表示されます。
6. 続けて、レーザー光を高さの目標面に当てます。  
☞ 幅の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
7. 「測定スタートボタン②(△)」を押して高さを測定します。  
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了すると、高さの測定値がディスプレイ①の測定値表示e下段に表示されます。体積の測定値はディスプレイ①の測定結果表示fに表示されます。



## 間接・ピタゴラス測定する

何らかの障害物にレーザー光が遮られ、直接の測定が行えない場合や、反射に適した対象物がない場合、辺測定することで、値を出すことができます。

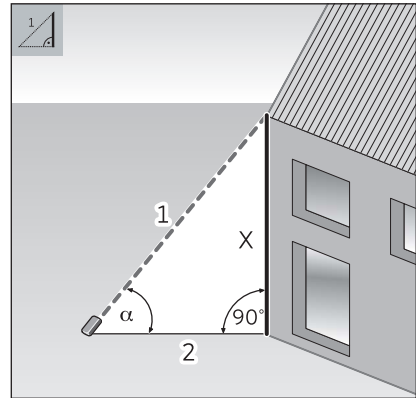
正確な測定結果を得るためには、レーザー光と求めようとする距離が、完全に直角を成す必要があります。(三平方の定理)

☞ 間接・ピタゴラス測定モードで算出された距離は、距離測定モードで直接測定した距離より精度が落ちます。また、対象物によっては測定誤差が大きくなる可能性があります。測定精度を向上させるには、三脚を使用してください。

## 間接高さ測定

右記の例で、距離Xを求めようとした場合、辺1を測定します。

辺2と辺Xは直角である必要があります。



使  
い  
方

1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を辺1の目標面に当てます。  
本機を辺Xの下との点と水平に置き、測定基準位置を中心に本機を傾けます。
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、辺1の距離を測定します。

測定が完了すると、辺1と傾斜角度 $\alpha$ の測定値がディスプレイ①の測定値表示eに表示されます。

辺Xの距離は、ディスプレイ①の測定結果表示fに表示されます。

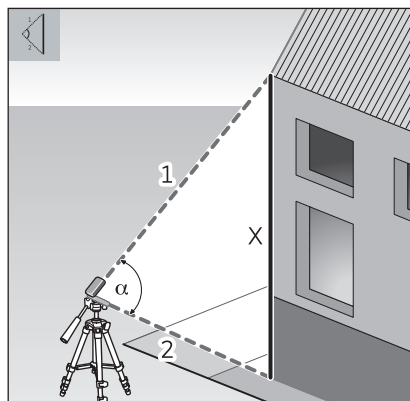
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。





## 簡単ダブルピタゴラス測定

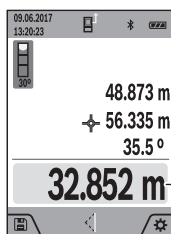
右記の例で、距離Xを求めようとした場合、辺1、2を測定します。



使  
い  
方

1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を辺1の目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、辺1の距離を測定します。  
測定が完了すると、測定値がディスプレイ①の測定値表示eに表示されます。
4. 続けて、レーザー光を辺2の目標面に当てます。  
☞ 辺1の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
5. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、辺2の距離を測定します。  
☞ 辺1を測定したときの測定基準位置と、同一の位置で測定してください。  
測定基準位置がずれると、正確な値を得ることができません。

辺2の測定が完了すると、辺2と傾斜角度 $\alpha$ の測定値がディスプレイ①の測定値表示eに表示されます。  
辺Xの距離は、ディスプレイ①の測定結果表示fに表示されます。  
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

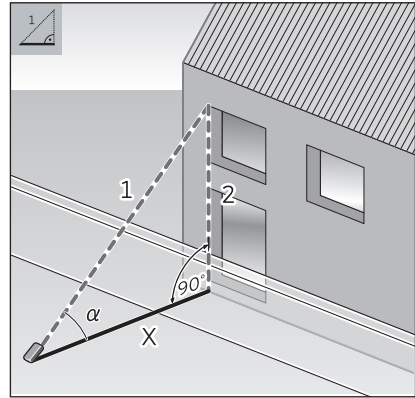


48.873 m — 辺1の測定値  
+ 56.335 m — 辺2の測定値  
35.5° —  $\alpha$ の測定値  
32.852 m — 計算された距離  
(辺Xの距離)

## 間接距離測定

右記の例で、距離Xを求めようとした場合、辺1を測定します。

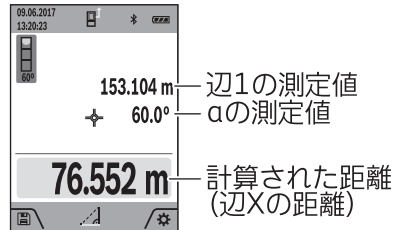
辺2と辺Xは直角である必要があります。



1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を辺1の目標面に当てます。  
本機を距離を求める方向に水平に置き、測定基準位置を中心に本機を傾けます。
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、辺1の距離を測定します。

使  
い  
方

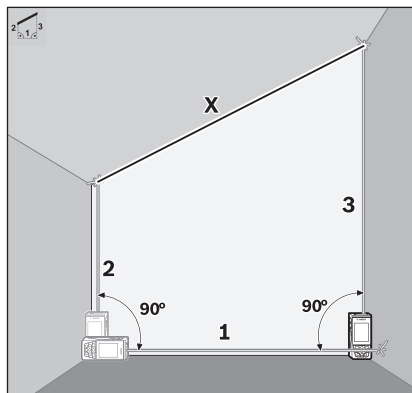
測定が完了すると、辺1と傾斜角度 $\alpha$ の測定値がディスプレイ①の測定値表示eに表示されます。  
辺Xの距離は、ディスプレイ①の測定結果表示fに表示されます。  
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。



## 台形測定

右記の例のように、屋根裏の勾配長さXを求めようとした場合、辺1、2、3を測定します。

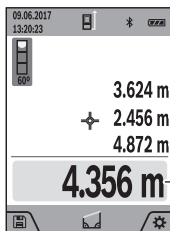
辺1と2、辺1と3はそれぞれ直角である必要があります。



## 使 い 方

1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を辺1の目標面に当てます。

3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して辺1を測定します。  
測定が完了すると、辺1の測定値がディスプレイ①の測定値表示e上段に表示されます。



4. 続けて、レーザー光を辺2の目標面に当てます。  
☞ 辺1の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

5. 「測定スタートボタン②(△)」を押して辺2を測定します。  
測定が完了すると、辺2の測定値がディスプレイ①の測定値表示e中段に表示されます。

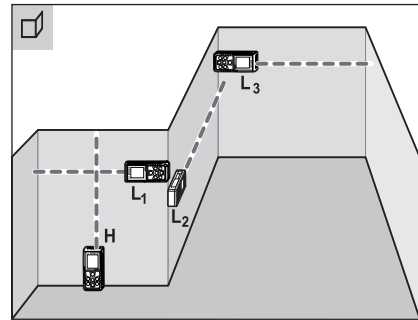
6. 続けて、レーザー光を辺3の目標面に当てます。  
☞ 辺2の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

7. 「測定スタートボタン②(△)」を押して辺3を測定します。  
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。  
測定が完了すると、辺3の測定値がディスプレイ①の測定値表示e下段に表示されます。勾配長さXの測定値はディスプレイ①の測定結果表示fに表示されます。

## 壁の総面積を測定する

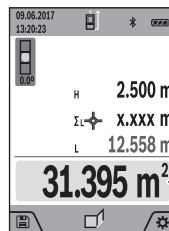
同じ高さの、数面の壁の総面積を測定することができます。

例では、部屋の高さHが同じで幅Lが異なる3つの壁面積の合計を求めます。



1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を高さHの目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、高さHを測定します。  
測定が完了すると、測定値がディスプレイ①の測定値表示eの上段に表示されます。
4. レーザー光を一面目の壁の幅L1の目標面に当てます。  
☞ 高さHの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
5. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、幅L1を測定します。

測定が完了すると、幅L1の測定値がディスプレイ①の測定値表示eの下段に表示されます。  
壁の面積は、ディスプレイ①の測定結果表示fに表示されます。



H 2.500 m — 高さHの測定値  
L1 2.500 m — L1とL2の合計値  
L2 10.058 m — 幅L1の測定値  
31.395 m<sup>2</sup> — 計算された面積

6. 続けて、レーザー光を二面目の壁の幅L2の目標面に当てます。  
☞ 一面目の壁の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
7. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、幅L2を測定します。  
測定が完了すると、幅L2の測定値がディスプレイ①の測定値表示eの下段に表示されます。  
測定値表示eの上段には高さHの測定値、中段には幅L1とL2の測定値の合計が表示されます。  
壁の面積の合計は、ディスプレイ①の測定結果表示fに表示されます。

8. 同様の手順で三面目の壁の幅L3を測定します。

👉 レーザー光を切るまで、同様の手順で数面の壁の総面積を測定できます。

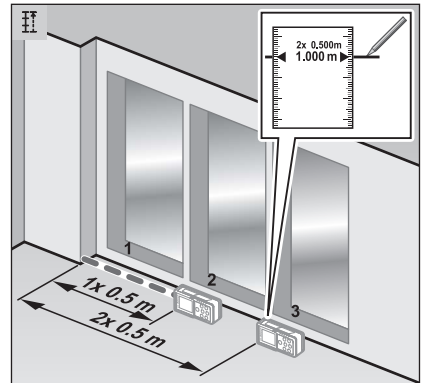
9. 「測定スタートボタン②(△)」を押すと、連続測定は終了し、レーザー光が切れます。

## 等間隔測定する

あらかじめ設定した長さを繰り返し測定できます。

材料を同じ長さに切断したり、等間隔に柱を立てたりするときに使用します。

👉 設定できる長さは、0.1～50mです。



設定したい長さは、まず「ソフトキー⑫」を押し、「加算ボタン④(▶)」または「減算ボタン⑪(◀)」を押して数値を選択し、再び「ソフトキー⑫」を押して確定します。

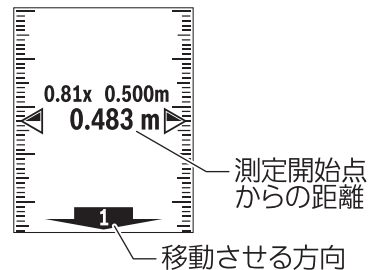
ディスプレイ①には測定開始点からの距離が表示されます。

1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 本機を測定開始点からゆっくり後方へ移動させます。

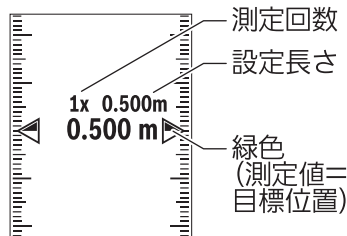
測定開始点からの距離が連続して測定され、設定した長さ実際に測定された距離がディスプレイ①に表示されます。

下の段の値は次の目標位置までの距離を示します。

👉 連続測定中に「測定スタートボタン②(△)」を長押しすると、そのときの測定値を設定長さに設定できます。



目標位置に到達すると、ディスプレイ①両端の三角マーク◀▶が緑色になります。  
 測定値が目標位置を超えると、ディスプレイ①の両端の三角マーク◀▶が赤色になります。  
 上の段の左の値は、設定長さを何回測定したかを示します。



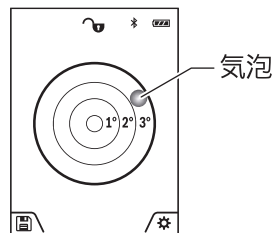
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押すと、連続測定は終了し、レーザー光が切れます。

## 傾斜を測定する

傾斜の角度を測定したり、水準器として使用したりできます。  
 本機の向きによってディスプレイ①の表示が自動的に切り替わります。

本機を下面を下にして置くと、水準器として使用できます。

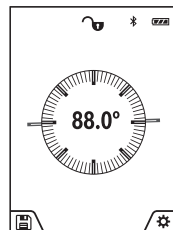
☞ 傾斜が3°以上あるときは、気泡が赤く点灯します。



本機を左側面または底面 (受光レンズ⑬面) で立てて置くと、ディスプレイ①が傾斜測定画面になります。

いずれの場合も、左側面が傾斜角度の基準になります。

☞ 測定中にディスプレイ①が点滅するときは、本機を傾けすぎています。



## 測定値を削除する

「電源/クリアボタン⑨(ⓐ)」を押すと、最新の測定値が削除されます。

「電源/クリアボタン⑨(ⓐ)」を繰り返し押すと、最新の測定値から順に削除されます。

使  
い  
方

## 7 測定値を加算・減算する

### 測定値の加算

☞ 加算されるのは、測定モードが一致している場合のみです。

☞ 下記の組み合わせによる加算が可能です。

測定値+測定値

1. 加算させたい値を測定します。
2. 「加算ボタン④(▶)」を押します。  
1項での測定値と“+”がディスプレイ①に表示されます。
3. 加算したい値を測定します。  
測定値がディスプレイ①に表示されます。
4. もう一度「測定スタートボタン②(△)」を押します。  
最初の測定値に2番目の測定値が加算された値が、測定結果表示fに表示されます。  
☞ 距離測定モードでは、3項で加算したい距離を測定すると、「測定スタートボタン②(△)」を押さなくても加算された値が表示されます。
5. 測定値の加算を終了するときは、「機能ボタン⑬(Func)」を押します。  
測定モードの選択画面に戻ります。  
☞ 測定値はメモリーに保存されています。

## 測定値の減算

☞ 減算されるのは、測定モードが一致している場合のみです。

☞ 下記の組み合わせによる減算が可能です。

測定値-測定値

1. 減算させたい値を測定します。
2. 「減算ボタン⑪(⊖)」を押します。  
1項での測定値と“-”がディスプレイ①に表示されます。
3. 減算したい値を測定します。  
測定値がディスプレイ①に表示されます。
4. もう一度「測定スタートボタン②(△)」を押します。  
最初の測定値から2番目の測定値が減算された値が、測定結果表示fに表示  
されます。  
☞ 距離測定モードでは、3項で減算したい距離を測定すると、「測定スタートボタン  
②(△)」を押さなくても減算された値が表示されます。
5. 測定値の減算を終了するときは、「機能ボタン⑬(Func)」を押します。  
測定モードの選択画面に戻ります。  
☞ 測定値はメモリーに保存されています。



## 8 保存された測定値を呼び出す・削除する

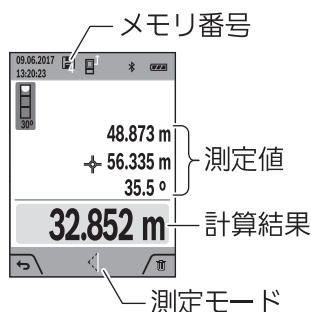
本機は、自動的に最新50件の測定値と計算結果を保存しています。

☞ 測定時にカメラ⑰を使用していると、撮影した写真やモード・日時などの情報も保存されます。

### 測定値の呼び出し

メイン画面が表示されているときに「ソフトキー⑫(内部メモリー画面へ)」を押して、内部メモリー画面に切り替えます。

ディスプレイ①の上部にメモリー番号、下部に測定値と計算結果、左部に測定モードが表示されます。



使  
い  
方

「加算ボタン④(⊕)」を押すとひとつ新しい測定値と計算結果が、「減算ボタン⑪(⊖)」を押すとひとつ古い測定値と計算結果が表示されます。

保存されている値がない場合は、メモリー番号“0”が上部に、“0.000”が下部に表示されます。

最古の値はメモリー番号1に保存されています。最新の値はメモリー番号50に保存されています(50件保存されている場合)。既に50件の値が保存されていると、測定するたびにメモリー番号1の値が消去されます。

### 測定値の削除

内部メモリー画面が表示されているときに「ソフトキー③(ごみ箱)」を押すと、ごみ箱マークが点滅します。

削除してよい場合は「ソフトキー⑫」を押すと、表示されている測定値が削除されます。

内部メモリーのすべての測定値を削除する場合は、機能設定画面で「内部メモリーデータ削除(🗑️)」を選択し、「ソフトキー⑫」を押します。メモリーが初期化(再フォーマット)され、全データが削除されます。

### Bluetooth®通信

本機は、Bluetooth®インターフェースを備えたモバイル端末・機器(スマートフォン、タブレットPCなど)に、無線通信でデータ転送することができます。

Bluetooth®接続に必要なシステム条件については、ボッシュホームページ(<http://www.bosch.co.jp>)をご覧ください。

モバイル端末・機器用ボッシュアプリは、APPストアやグーグルプレイなどでも入手できます。

1. 機能設定画面で「Bluetooth®(✱)」を選択します。  
ディスプレイ①上部にBluetooth®表示c✱(有効・未接続)が表示されます。
2. 「加算ボタン④(▶)」を押します。
3. 通信先のモバイル端末・機器のBluetooth®インターフェースが有効になっていることを確認し、ボッシュアプリを起動してBluetooth®を認識させます。  
モバイル端末・機器との接続が確立すると、Bluetooth®表示cが✱(有効・接続済み)に変わります。
4. ボッシュアプリで作業します。
5. Bluetooth®接続を切るときは、機能設定画面で「Bluetooth®(✱)」を選択します。
6. 「減算ボタン⑪(◀)」を押すと、Bluetooth®表示cが消えます。  
または「電源/クリアボタン⑨(ⓐ)」を長押しして本機の電源を切ると、Bluetooth®接続も切れます。

☞ 接続の際に有効なレーザー距離計が複数台見つかった場合は、モバイル端末・機器側で1台を選択してください。有効な距離計が1台しか見つからなかった場合は、自動的にそれが接続されます。

☞ 航空機内・病院内など、無線通信に制限がある場所では、それぞれの指示に従ってください。

☞ Bluetooth®によるデータ転送は、モバイル端末・機器と本機との距離や測定対象物によって、時間がかかることがあります。

Bluetooth®のワードマークとBluetooth®のロゴはBluetooth SIG Inc.の登録商標であり、Robert Bosch Power Tools GmbHは商標使用の許諾を得てこれらを使用しています。

## ● USB接続

付属のマイクロUSBケーブルでWindowsパソコン等と接続して、データを転送することができます。

接続すると、パソコン等のOSはレーザー距離計を外部ドライブとして認識します。また、保存されているすべての測定値を含むJPGファイルが追加で作成されます。

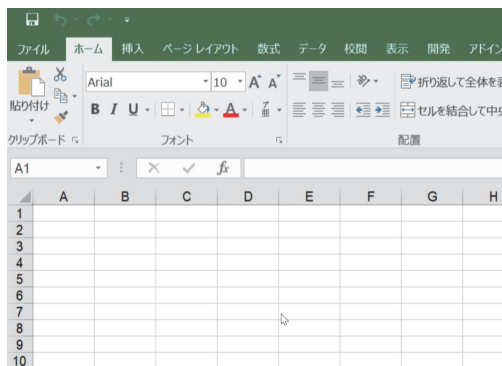
PC側に必要なシステム条件については、ボッシュホームページ (<http://www.bosch.co.jp>) をご覧ください。

モバイル端末用ボッシュアプリは、APPストアやグーグルプレイなどでも入手できます。

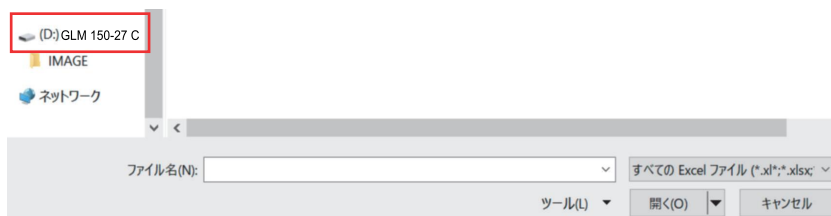
- ☞ レーザー距離計をパソコン等から初期化しないでください。
- ☞ 転送するデータに写真を含む場合は、ズーム機能を無効にしておくことをお勧めします。
- ☞ パソコン等と接続すると、同時にバッテリー充電も行われます。

### 測定数値の転送方法

1. GLM 150-27 C本体とパソコンを付属のマイクロUSBケーブルで接続します。
2. パソコンでエクセルファイルを開きます。



3. エクセル内の[参照]をクリックして、GLM 150-27 Cのドライブをクリックします。



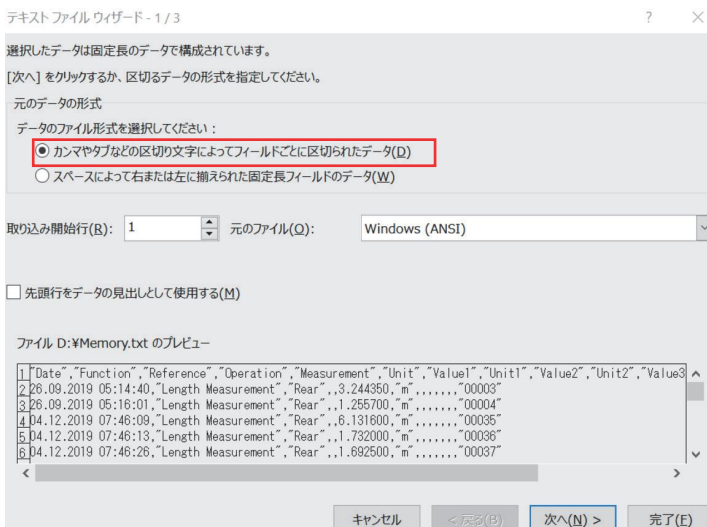
#### 4. 「すべてのファイル」を選択して、「Memory.txt」を開きます。

名前	更新日時	種類	サイズ
IMAGE	2000/01/01 0:01	ファイル フォルダー	
Memory.txt	2000/01/01 0:00	テキストドキュメント	
Readme.pdf	2019/04/11 23:43	Adobe Acrobat Docu...	



使  
い  
方

#### 5. データのファイル形式を「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択して、「次へ」をクリックします。



6. 区切り文字を「カンマ」を選択して、「次へ」をクリックします。

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

タブ(I)

セミコロン(M)

カンマ(C)

スペース(S)

その他(Q):

連続した区切り文字は 1 文字として扱う(B)

文字列の引用符(Q): "

データのプレビュー(P)

Date	Function	Reference	Operation	Measurement	Unit	Value1	Unit1	Value2	Unit2	Value3	Unit3
26.09.2019 05:14:40	Length Measurement	Rear		3.244350	m						
26.09.2019 05:16:01	Length Measurement	Rear		1.255700	m						
04.12.2019 07:46:09	Length Measurement	Rear		6.131600	m						
04.12.2019 07:46:13	Length Measurement	Rear		1.732000	m						
04.12.2019 07:46:26	Length Measurement	Rear		1.692500	m						

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

使  
い  
方

7. 「詳細」をクリックします。

区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。

列のデータ形式

G/標準(G)

文字列(I)

日付(D): YMD

削除する(I)

[G/標準] を選択すると、数字は数値に、日付は日付形式の値に、その他の値は文字列に変換されます。

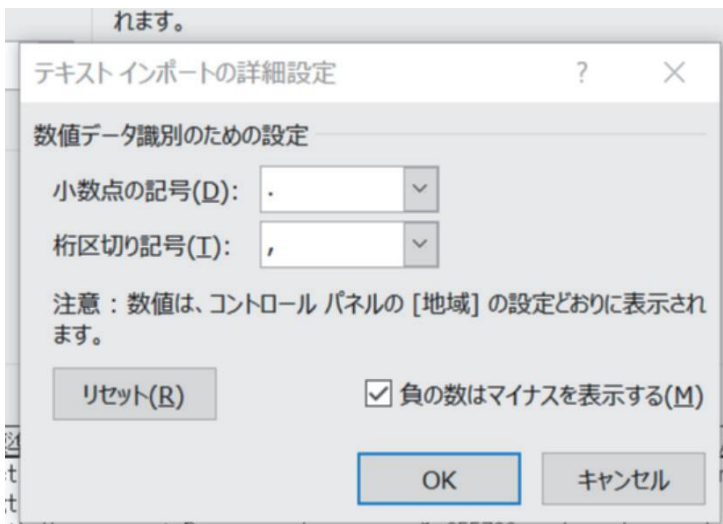
詳細(A)...

データのプレビュー(P)

G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準
Date	Function	Reference	Operation	Measurement	Unit	Value1	Unit1	Value2	Unit2	Value3	Unit3
26.09.2019 05:14:40	Length Measurement	Rear		3.244350	m						
26.09.2019 05:16:01	Length Measurement	Rear		1.255700	m						
04.12.2019 07:46:09	Length Measurement	Rear		6.131600	m						
04.12.2019 07:46:13	Length Measurement	Rear		1.732000	m						
04.12.2019 07:46:26	Length Measurement	Rear		1.692500	m						

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

8. 小数点の記号を「.」（ピリオド）、桁区切り記号を「,」（カンマ）を選択して、「OK」をクリックします。



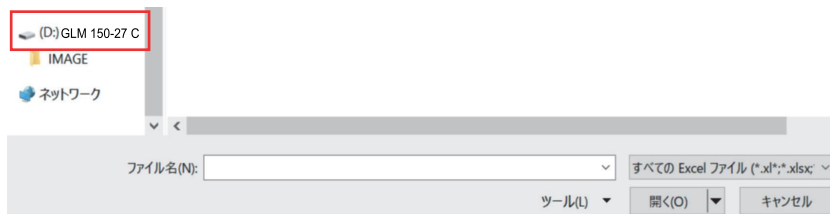
使  
い  
方

9. エクセル形式で測定数値が作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	Date	Function	Reference Operation	Measurement Unit	Value1	Unit1	Value2	Unit2	Value3	Unit3	Image No.			
2	26.09.2011	Length Me Rear		3.24435 m									3	
3	26.09.2011	Length Me Rear		1.2557 m									4	
4	04.12.2011	Length Me Rear		6.1316 m									35	
5	04.12.2011	Length Me Rear		1.732 m									36	
6	04.12.2011	Length Me Rear		1.6925 m									37	
7	04.12.2011	Length Me Rear		0.66695 m									38	
8	04.12.2011	Area Me Rear		2.635491 m <sup>2</sup>	2.82945 m		0.93145 m						39	
9	04.12.2011	Volume Me Rear		4.637834 m <sup>3</sup>	2.81035 m		0.93175 m		1.77115 m				40	
10	04.12.2011	Wall Surf Area Rear		7.207241 m <sup>2</sup>	4.1966 m		1.7174 m						45	
11	04.12.2011	Indirect He Rear		0.581325 m	2.8788 m		11.09223 deg						46	
12	04.12.2011	Double Ind Rear		3.246641 m	6.1488 m		2.9022 m		0.223883 deg				47	
13	04.12.2011	Double Ind Rear		0.910687 m	2.84915 m		2.8409 m		18.41875 deg				48	
14	04.12.2011	Indirect Le Rear		0.813032 m	0.88985 m		23.41315 deg						49	
15	04.12.2011	Trapezium Rear		1.168806 m	0.60125 m		0.68345 m		1.68575 m				50	
16	04.12.2011	Trapezium Rear		1.350278 m	1.3479 m		1.35985 m		1.43995 m				51	
17	04.12.2011	Trapezium Rear		0.753435 m	0.7533 m		1.5583 m		1.54405 m				52	
18														
19														
20														
21														
22														
23														

## 画像データの転送方法

1. GLM 150-27 C本体とパソコンを付属のマイクロUSBケーブルで接続します。
2. GLM 150-27 Cのドライブをクリックします。



3. 「IMAGE」をクリックすると、画像ファイルが表示されます。

名前	更新日時	種類	サイズ
IMAGE	2000/01/01 0:01	ファイル フォルダー	
Memory.txt	2000/01/01 0:00	テキスト ドキュメント	
Readme.pdf	2019/04/11 23:43	Adobe Acrobat Docu...	



## レーザー距離計の精度チェック

### ● 距離測定の精度チェック

誤って落としたり、ぶつけたりして精度が気になるときは、下記の手順で精度チェックを行ってください。

☞ 測定作業後に精度比較チェックが行えるよう、すべての測定値を記録してください。

1. 距離が変化しない室内の場所で、3～10m程度の距離を決めます。(例えば、室内幅やドアの開孔口など)  
対象物の表面は平坦で、レーザー光がよく反射するものにします。
2. 1項で決めた距離を、10回続けて測定します。  
測定値の許容誤差は、±2mm以下です。

### ● 傾斜測定の精度チェックおよび角度校正

定期的に傾斜測定の精度チェックを行ってください。

☞ 極端な温度変化や強い衝撃を受けた場合は、精度チェックを行い、必要であれば校正してください。温度変化があった場合は、本機を温度に慣らしてから校正してください。

1. 本機を水平なテーブル上に置き、傾斜を測定します。



2. 同じ場所で本機を180°回転させ、再度傾斜を測定します。





3. 本機を横向きにして同様に測定します。

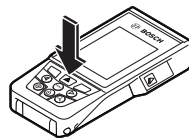
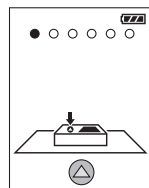


☞ 測定値の許容誤差は $0.3^\circ$ 以下です。

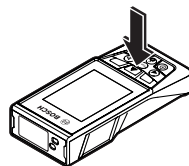
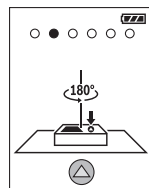
4. 測定値の差が $0.3^\circ$ 以上の場合は、校正が必要です。  
機能設定画面で「角度校正」を選択します。ディスプレイ①に表示される指示に従って校正してください。

使  
い  
方

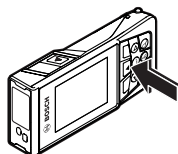
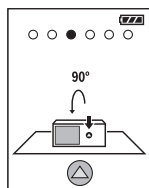
① 本機を水平なテーブル上に置き、傾斜を測定します。



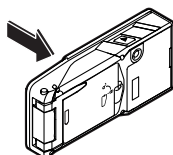
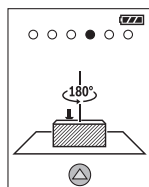
② ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を $180^\circ$ 回転させて再度傾斜を測定します。



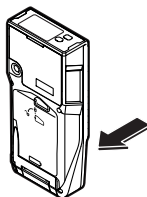
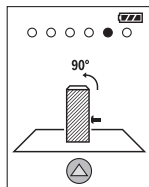
- ③ ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を横向きにして、再度傾斜を測定します。



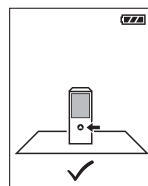
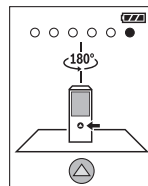
- ④ ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を180°回転させて、再度傾斜を測定します。



- ⑤ ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を立てて、再度傾斜を測定します。



- ⑥ ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を180°回転させて、再度傾斜を測定します。



使  
い  
方

完了

## その他の機能設定

機能設定画面では、必要に応じて下記の項目についても設定することができます。設定方法は「Bluetooth®」や「測定基準位置」と同様です。

### 🕒 タイマー測定

「測定スタートボタン②(△)」を押してから実際に測定するまでの遅延時間を設定することができます。測定モードを切り替えるか、タイマー測定をOFFに設定するまで、遅延時間は有効です。

1. 機能設定画面で「加算ボタン④(▶)」または「減算ボタン⑪(◀)」を繰り返し押し、「タイマー測定」を選択します。
2. 「機能ボタン⑬(Func)」を押して、確定します。
3. 「加算ボタン④(▶)」または「減算ボタン⑪(◀)」を繰り返し押し、「遅延時間」を選択します。
4. 「測定スタートボタン②(△)」または「機能ボタン⑬(Func)」を押すとメイン画面に戻り、上部に遅延時間が表示されます。
5. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
6. レーザー光を目標面に当てます。
7. 再度「測定スタートボタン②(△)」を押すと、設定時間が経過してから測定を行います。

👁️ タイマー測定の設定は、「連続測定モード」では無効です。

### \* 📢 レーザー光連続照射

ONにすると、測定モードにかかわらず、レーザー光を連続照射することができます。

レーザー光照射中は「測定スタートボタン②(△)」を押すたびに測定を行います。

OFFにするか本機の電源を切るまでは、レーザー光は自動的に切れません。

### 📷 CAL ファインダー校正

カメラ使用時に表示されるターゲットポイントjのずれを校正することができます。操作方法は、「角度校正」と同様です。

## 内部メモリーデータ削除

内部メモリーのすべての測定値を削除します。

## ツール設定

ツール設定画面に切り替えることができます。  
29ページを参照してください。

## バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上)使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

## リサイクルのために

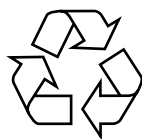
### 使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポッシュ電動工具取扱店、ポッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

つ  
バ  
ッ  
テ  
リ  
ー  
に

本製品は、リチウムイオンバッテリーを内蔵しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みの製品本体を廃棄するときは、本体を分解せず、製品本体ごとポッシュ電動工具取扱店、ポッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちください。

# お手入れと保管

## お手入れと保管

- レーザー距離計を保管・運搬する際には、必ず付属のキャリングバッグに収納してください。
- レーザー距離計はきれいな状態を保ってください。
- レーザー距離計を水中やその他の液体中に入れてください。
- 汚れは湿ったやわらかい布で拭き取ってください。洗剤や溶剤は使用しないでください。
- 受光レンズ④は眼鏡およびカメラレンズ等の光学機器と同等に損傷を受けやすい部品です。特に慎重にお取り扱いください。
- レンズのほこりは、吹き飛ばしてください。
- レンズには指で触れないでください。

## 廃棄

本機の廃棄処分は各地域の行政が指導する方法に従って適切に処分してください。

本機を不適切に廃棄処分すると、以下のような問題が起きる恐れがあります。

- プラスチック部品を燃やすと、有毒ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 電池が損傷したり、加熱され爆発したりすると、毒物の発生、火傷、腐食、火事あるいは環境汚染の原因となることがあります。
- 本機を無責任に廃棄処分すると、製品知識の無い人が規定を守らずに使用する恐れがあります。そのため自分自身だけでなく第三者も重症を負ったり、環境汚染を起こすことがあります。

# 困ったときは

## 故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
温度警告表示が点滅して、測定ができない	本体が使用温度範囲(-10~+45°C)になっていない	測定ツールが使用温度範囲になるまで待つ
ERRORが表示される	測定値の加算/減算を行う際に、それぞれの測定値単位が異なっていた	測定単位が同じもので、加算/減算し直す(測定値の加算/減算は同一の測定単位でのみ可能です)
	対象物へのレーザー光入射角度が鋭角すぎる	対象物へのレーザー光入射角度を広げる
	測定対象物から適切な反射が得られない(水面、ガラス、黒い布など)、または周辺光が明るすぎる	レーザーターゲットプレート(別売品アクセサリー)を使用する
	レーザー出力部⑩、受光レンズ⑪またはカメラ⑫が曇っている	やわらかい布でレーザー出力部⑩、受光レンズ⑪またはカメラ⑫を拭く
	測定結果または計算結果が±999999m、m <sup>2</sup> 、m <sup>3</sup> を超えた	測定面を分割して測定する
CALとERRORが表示される	傾斜測定の角度校正が正しい順序、または正しい位置で行われなかった	再度校正する
	角度校正に使用した面が、水平または垂直でなかった	水平または垂直な面で、再度校正する 必要に応じて、校正前に水準器などで面を検査する
	角度校正でボタンを押すときに、本体が動いたり傾いたりした	ボタンを押すときに、本体をしっかりと押さえ、再度校正する

困ったときは



症 状	原 因	対 処
電池残量表示d、温度警告表示が点滅、およびERRORが表示される	本体が充電温度範囲(+5～+40℃)になっていない	充電温度範囲になるまで待つ
電池残量表示dが点滅、およびERRORが表示される	充電電力(5V 1A)が正しくない	正しく接続されているか、アダプターが正常に機能しているかを確認する
測定結果が不正確である	測定対象物から適切な反射が得られない(水面、ガラス、黒い布など)	照準対称面に何らかの覆いをする
	レーザー出力部⑩、受光レンズ⑪またはカメラ⑫に何か被さっている	レーザー出力部⑩、受光レンズ⑪またはカメラ⑫を覆っている障害物を取り除く
	測定基準位置が間違っている	測定基準位置を確認して、正しく選択する
	レーザー光が対象物に当たっていない	レーザー光を対象物に確実に当たる
Bluetooth®が有効にならない	バッテリー残量が少ない	バッテリーを充電する
Bluetooth®が接続できない	Bluetooth®接続に失敗する	モバイル端末・機器のソフトウェアをチェックする
		本機とモバイル端末・機器のそれぞれでBluetooth®が有効となっているかチェックする
		モバイル端末・機器に負荷がかかり過ぎていないかチェックする
		本機とモバイル端末・機器の距離を近くする
		本機とモバイル端末・機器の間にある障害物や電磁障害を取り除く
マイクロUSBケーブル経由のデータ転送ができない	マイクロUSBケーブルが正しく接続されていない	マイクロUSBケーブルが正しく確実に接続されていることを確認する
		マイクロUSBケーブルが損傷していないことを確認する

## 修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。  
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

### コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。  
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

### ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

### ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407





## プロ用電動工具・メジャーリングツール 保証サービス『PRO360』のご案内

2022年4月より、弊社ホームページからユーザー登録をしていただいたお客様を対象に、購入日より2年間の保証サービスを実施させていただきます。

(各プロ用メジャーリングツールの基本保証期間が2年に延長となります)

保証サービスの詳細および登録に関しては、弊社ホームページまたは下記URLでご確認ください。

<https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/>